

学習講演会

医療放射線被ばくのリスクを考える

医師は癌を早期診断、早期治療が生存率の上昇や、患者の生活の質向上に貢献するものと信じて診療に勤しんできたのではないのでしょうか。癌検診はメリットに目を奪われ、X線検査における放射線被ばくによるデメリットを考える機会は少ないのが現状です。

万が一の医療訴訟への備えとして過剰にX線検査に頼りがちになる医師も見受けます。2004年のランセットで日本は世界一医療被ばくが多いと言われ、CTの設置台数は世界で群を抜いています。

3. 11の原発事故以降、日常診療で患者から医療被ばくについて質問を受けることが増えたと思われませんが、疑問や不安に正確に答えられているか悩ましいのではないのでしょうか。

今回の学習講演会では、集団検診や様々な医療行為におけるX線撮影の医療被ばくのリスクとメリットについて、この問題のスペシャリストである崎山比早子先生を講師に迎えて勉強します。たくさんの会員のご参加をお待ちしています。お気軽にご参加ください

日時 10月25日(金) 19:45~22:00

場所 埼玉県保険医協会 2階会議室 JR北浦和駅より徒歩1分

講師 崎山 比早子 医学博士/高木学校医療被ばく問題研究グループ
マサチューセッツ工科大学研究員、千葉大学大学院医学研究科修了
元放射線医学総合研究所主任研究官、元国会事故調委員

埼玉県保険医協会

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-2-2-5F / 電話 048-824-7130

参加申込書 埼玉県保険医協会行き FAX048-824-7547

〆切10月24日

10月25日(金) 学習講演会

「医療放射線被ばくのリスクを考える」に参加する

会場付近図の送付を希望する(希望する方のみチェックして下さい)

ご質問がございましたらお書きください。

お名前

ご参加 人

医療機関名

お電話